



# 實性

令和四年 第三号 お盆号発行

## お盆回向のご案内

七月から八月にかけては、お盆の季節です。

お彼岸とともに、親しみ深い仏教行事です。毎年、お盆の時期になるとニュースなどで帰省の話題が取り上げられるように、普段は離れて暮らす家族や親類が集まる良い機会にもなっています。

お盆の起源は「盂蘭盆経」という経典に記されています。お釈迦様の弟子、目蓮尊者と餓鬼道に落ちた目蓮尊者の母親の逸話にさかのぼります。お釈迦様は、母親を救う方法を求める目蓮尊者に「僧達が夏の修行を終える七月十五日に、彼らに、食べ物や飲み物を献じれば、その功德により汝の母親を救うことが出来よう」と、説かれました。

七月または月遅れの八月に、先祖供養の行事として行われるようになりました。

お盆には、今は亡きご先祖様を極楽浄土からご自宅にお迎えし、ねんごろに供養しますが、父・母をはじめ、多くの方々の命のつながりがあったところこそ、私達の命がある、ということに感謝の気持ちを伝えるためです。

このことに今一度、思いを致し、ご先祖様への「敬いの心」を次の世代につないでいくことも、お盆の大切な意味といえるのでしよう。

ご先祖様をお迎えし、供養する風習は、真心を込めてお勤めしたいものです。

★本年の七月、八月の「お盆回向」は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため縮小しての法要となります。

### 七月お盆法要

七月十日(日)

午後一時三十分より

### 八月お盆法要

八月十三日(土)

午前十時

午前十一時三十分

※お盆法要のお塔婆はお早めにお申込み下さい。

● 通年のお抹茶のご接待等は省略させていただきます。

★ 八月お盆法要のご案内は改めてご案内致します。

## お施餓鬼会ご報告

五月二十八日（毎年第四土曜日）お施餓鬼会が厳修されました。本年度も、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため縮小しての開催となりました。

例年ですと、浄土宗北部組足立部の御住職方十三名、大本山増上寺式楽の御住職三名と大勢のご奉仕のもと行われておりましたが、三年連続、住職・副住職二人にてお勤め致しました。これは、他のご寺院でも同様のことです。

また、昨年同様、総代様、婦人部、職方、茶道部、暁月会のご奉仕もございませんでした。法要前の説教師上人による法話並びに余興も中止になりましたにもかかわらず、壇信徒百八十名様という大変大勢の方々にて、本堂内六十名様、客殿六十名様で法要にご参加いただき、お焼香後お塔婆お持ちになり、お墓参りをしていただきました。来年こそは、通年通りの厳修をしたいものです。

今年度は、ベルクス様の駐車場をお施餓鬼のためにお借り致しました。場所も明記していただきまして大変お手数をおかけ致しました。誠にありがとうございました。



## 「回向」とは

ご挨拶したり、皆様方が、お知り合いの方より、年回法要にご案内いただいたときにも、「よくご回向なされます」とか「ご回向させていただきます」と、ご挨拶されると思いますが、その「回向」とは本来どのような意味があるのでしょうか。

「回向」は「廻向」とも書き、インド古代文字サンスクリット語では「パナリータ」といいます。中国読みでは「廻転向趣」の四字熟語に訳され、「廻り転じて趣を向ける」から「回向」となりました。回して向けるとは、何を回して向けると言いますと、善行を向ける事になりますが、自分自身が良い行いをし、それをふり向けること、自分自身のためでなく他の人、亡き人のために良い行いをすることが「回向」となります。

「追善」ともいいます。年回法要をしたり、仏に手を合わせたり、亡き人を偲んだりはもちろんですが、善行とは、日常生活全てにおいて言われることです。他人に対すること、社会地域に奉仕すること、ボランティアをすること等もこれにあたります。これらをふり向けることが「回向」でございます。

「回向」には二種類あり、一つは「往相回向」、一つは「還相回向」です。

「往相回向」とは、自信が人間として悟りの境地に達するための良い行いを言います。すなわち、往生するために行う回向です。「還相回向」とは、悟りの境地に達したものが、衆生



のための回向して下さることにして、亡くなられた方が残された者をお守り下さること、目に見えることでは無いかもしれないませんが、ご先祖様が、私共を見守っていることです。また、私共が死して仏になり家族を守ってあげたいという願いをさします。

●「回向」には、「三心」をもって行えと説かれています。「三心」とは、「至誠心」「深心」「回向発願心」の三つです。

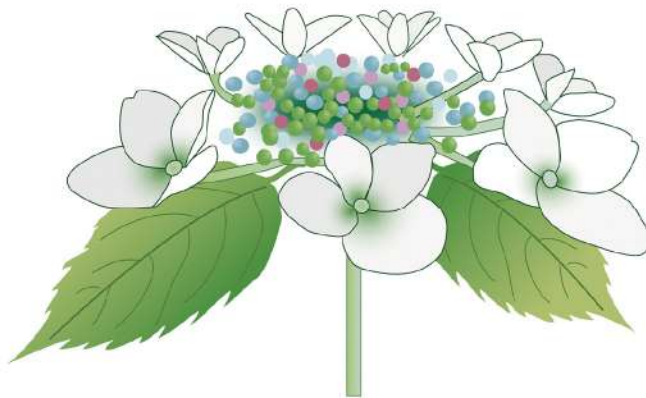
●「至誠心」とは、真に実のある心で、内面とは裏腹に外面ばかり飾り立てようとする、そうした心の無いことを言います。

●「深心」とは、深く信じる心です。すなわち疑う心のなきを言います。

●「回向発願心」とは、ふり向ける心、私達がこれまで修してきたあらゆる行いの功德をただひたすらふり向けて、極楽往生を願う心と言います。

これら「三心」をもって「回向」することが大事であると言うことです。形ばかりの「回向」では本来の追善回向とはなりません。真心をもってふり向けることが寛容であると説かれています。

私共は、常日頃忙しく生活しておりますが、法事が出来なくとも、お墓参りが出来なくとも、善行をし、それを回し、ふり向けることにより「回向」が出来ます。それは自分自身のためのみで無く、他の人々のためにも。という心を大切に心がけたいものです。



## 布施について

「布施」とは

仏教の修行に六波羅蜜という六つの行いがあります。その六つとは

- 一、布施 完全なる善意
- 二、持戒 戒律を守る
- 三、忍辱 耐え忍ぶこと
- 四、精進 努力をすること
- 五、禪定 瞑想（己を見つめること）
- 六、智慧 智慧をもって進むこと

迷える世界から、悟れる理想の世界へ歩むための道のことです。その六度の最初にあるのが「布施」の行です。奉仕・貢献することですが、今日の言葉にて表すと、ボランティアの原点のようなものです。

「布施」には、「財施」「法施」「無財の七施」というのがあります。

「財施」は、物質的、金銭的なものを指します。

「法施」は、御仏の教えをお伝えすることを指します。

私共、僧侶が法要をしたりお説教をすることがこれにあたります。

「無財の七施」は、物質的なものではなく、誰もができる布施行のことです。

- 一、眼施がんせ……優しいまなざしを他人に向けること
- 二、和顔施わがんせ……微笑みを絶やさず人に接すること
- 三、言施ごんせ……優しい言葉で話すこと
- 四、身施しんせ……手を貸し、お手伝いをすること
- 五、心施こんせ……気配りをし、真心で接すること
- 六、床座施しょうざせ……座のところが、寝る所を提供すること、席を譲る事も
- 七、房舎施ぼうしゃせ……住まいを清潔に保つこと、寝所を提供すること

「財施」ばかりでなく、他の人に奉仕する「布施」の行はたくさんあると思います。

お寺にお納めいただくのは、財施の「布施」にあたります。





## 七夕・蓮見の会

今年も境内に蓮の花が咲きます。九つの大きな蓮鉢に九種類の蓮があります。それぞれに美しく花を結びます。

例年ですと、お茶室にて薄茶一服を差し上げておりましたが、このコロナ禍において、お茶室は密になりやすく、菓子とお茶は口にするものですので、昨年同様お抹茶の接待は、中止とさせていただきます。

「七夕」は、笹を本堂前に用意致します。

どうぞ蓮の花を見ながら短冊に願い事を書きにお出かけ下さい。



### Flowers in the precincts

## 境内の花



三寸あやめ



芍薬



大山蓮華

## 駐車場

当寺には山門右横の五〆六台の駐車場しかございません。  
ご法事・お寺の行事（修正会・彼岸会・お施餓鬼・お盆等）には、とても不十分です。今までは、お檀家様の駐車場をその都度お借りしておりましたが、空きが無くなり、ご用意することができません。

お寺の周りには、コインパーキングが数カ所ございます。そちらも限りがございますが、ご利用いただくしがあります。その点は何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

Illuminated precincts

## 灯る境内



☆ご法要等のお塔婆を建立される方は、遅くても十日前迄にお申し込み下さい。お電話よりファックスの方が正確です。ご利用下さい。

ファックス番号 03(3883)3227

振替口座 00190-6-258873

※振込用紙をご入用の方はお申し出下さい。

〒121-0061 東京都足立区花畑三十七ー十八  
電話 03(3883)8866

浄土宗 實性寺

<http://www.jishoji.com>

